

2025年度公務員(大卒程度)受験対策

～基準点を超えるために～

論作文強化講座



公務員採用試験の多くには論文試験が課されます。広島県や広島県警など、論文試験だけの基準点が設けられているところもあり、それに達していなければ「足切り」になってしまいます。そうすると、教養試験や専門試験で高得点を取ったとしても、合格はできません。教養、専門の対策は多くの受験生が行っていますが、論文については意外と対策が十分でない受験生も多いため、本講座では必要に応じて、文章構成法や表現法などの基礎事項の確認、指導も行います。

スケジュール		講座内容(全5回)	
実施日	時間帯		
2025年2月13日(木)	19:00～ 21:00 (2時間)	公務員(大卒程度)の論文試験では、社会的 content と受験者自身のことを問うものが中心です。自分のことを語るといのは一見簡単に見えますが、意外にも試験に適応した文章を書けない人も多くいます。第1回目は、採点者が点を与えたい答案とはどんなものなのかを明らかにしつつ、答案を作成していきます。	講義+添削
2025年2月27日(木)		第2回目、3回目は社会的テーマの論文にあたっていきます。社会的テーマといっても、出題される事柄は多種多様にあります。今回は地方自治体で頻出される内容を取り上げ、それらをどのような形で論じていけば良いかをお話していきます。	講義+添削
2025年3月13日(木)		前回よりも視野を広くした社会的テーマに取り組んでいきます。日本の国家全体に関するテーマを取り上げて論じることは、国家公務員のみならず、地方自治体を受験される方にも必要となる力です。現在の日本を見つめて、何が問題か、それをどう解決するかを考えながら答案を作成していきます。	講義+添削
2025年3月27日(木)		視覚的テーマの論文に取り組んでいきます。視覚的テーマとは、図表等が提示され、それに基づいて論じていくことです。多くの受験生がこうしたテーマを苦手としていますが、出題者の意図が分かれば、意外にも書きやすいテーマとも言えます。視覚的テーマを臆することなく書けるようになることを目的とし講義します。	講義+添削
2025年4月10日(木)		最終回は記述内容の発想練習を行います。過去問題に当たりながら、採点される内容を想起し、おおまかな構成ができるようにします。さらに、答案を自力で作成し、全体の構成、パラグラフ同士の密接性、論の展開法が十分であるかどうかを点検し、高得点につながるよう指導します。	講義のみ

※添削した答案は次回の講義の際に返却します。(例 2月13日の答案は2月27日に返却)

※カリキュラム、コマ、時間数は試験制度の変更により変わる場合がございます。

※定員は25名の先着順での受付になります。

受講料: 35,000円(税込)

【解約規定 短期講習】 ～必ずご一読ください～

①講座開講前の解約につきましては、解約手数料として受講料の10%を控除した金額を返金いたします。(本短期講習は入会金を設けておりません)

②講座開講後の解約につきましては、消化受講料の全額と解約手数料として未消化期間にかかる受講料30%を控除した金額を返金いたします。消化受講料、未消化受講料は解約申請書受理日を基準にして原則としてコマ割りにて計算いたします。講座実施後は実際の受講の有無に関わらず、解約申請書受理日以前の講座については「受講済み」といたします。

【申込方法】

○右記2次元コードから申込フォームにアクセスして「分類:短期(Zoom講座含む)」を選択して、2025年度短期通学講座「論作文強化講座」を選択して手続きを進めてください。

